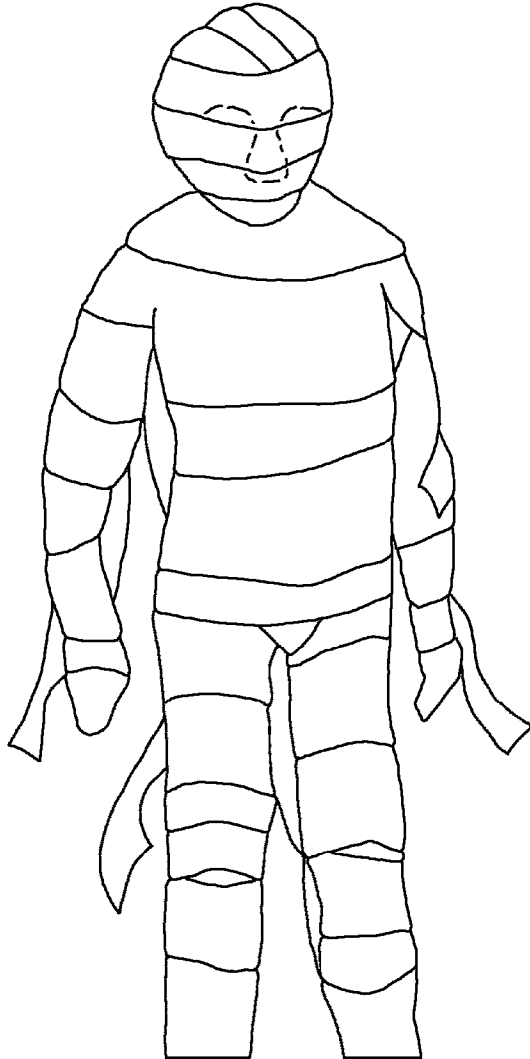


こども

子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



ひと

きせきの人

エリシヤ



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Lazarus, Alastair Paterson

かいさくしゃ

改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅつぱんしゃ

出版社: Bible for Children

www.M1914.org

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2021 Bible for Children, Inc.

許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、許可されています。



はたけ

うし

畑をたがやす“スキ”をひっぱる牛が、たり

うし

ません。もう1とう、牛がいたらいいのですけれど・・・でも、エリシャは、それでしごとをやめたりしませんよ。かれは1とうぐらい、

へいき

うし

たらなくても平気。たらない牛のぶんまで、ほ

うし

かの牛といっしょに、もくもくと、はたらいています。エリシャは、きつとつ

よく、かしこく、そして

はたらきものだっ

たにちがいありません。

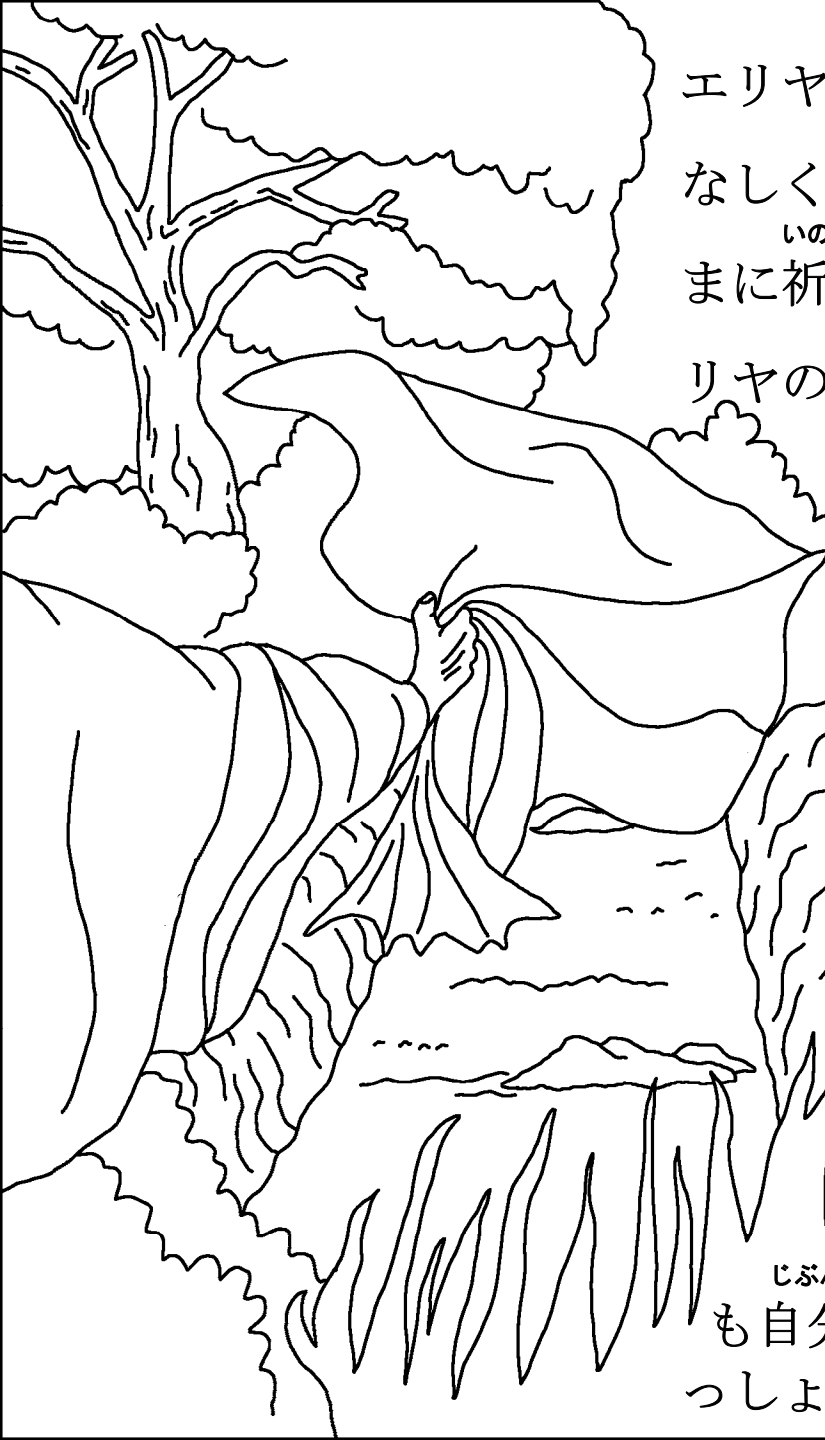




はたけ
エリシャが、畑をたがやしているときで
かみ しゃ
す。そこに、神さまのよげん者エリヤが
やってきて、かれをよびました。「エリ
シャ、エリシャ。さあ、わたしといっ
い はたけ
しょに行こう！」そこで、エリシャは畑の
かみ
しごとをやめて、神さまのしもべとして、は
ひ
たらくことにしました。ところが、ある日の
かみ おお かせ
こと。神さまは、大きいつむじ風をおこし、
エリヤを、

てんごく
天国へつれていってしまった
のです。さてこうなると、
こんどはエリシャが、
しゃ
イスラエルのよげん者ですね。





ひとり
エリヤがいなくなり、1人ぼっちのエリシャは、か
なしくてたまりません。そこで、エリシャは、神さま
いの かみ
まに祈りました。「神さま、どうぞわたしにも、エ
ちから
リヤのような力をください。」ってね。エリシャ
は、エリヤのマントをとり、まえにエリヤが
かわ みず
やったように、ながれている川の水をつよく

かわ みず
うちました。すると、川の水は、
どうなったでしょう。エリヤの
おな かわ
ときと同じように、川は2つ
わ
に分かれました。さあ、これ
かみ
でエリシャは、神さまが、いつ

じぶん
も自分とい
っしょにいてくださることが、わかりましたね。





あるとき、エリシャが、ペテルと
いう町まちへ行ったときのことで

す。
こどもたちが、かれちかに近づいてき
て、からかってさげびました。

「やーい、はげあたま！やーい、
あ
上がってゆけ！」こどもたちは、

エリシャが、神かみさまのしもべであ
ることなど、気きにもしません。

へいき
平気でばかりにしています。でも、
そのときです。とてもショックな
ことがおこりましたよ。とつぜ
ん、2とうのめすのクマが、

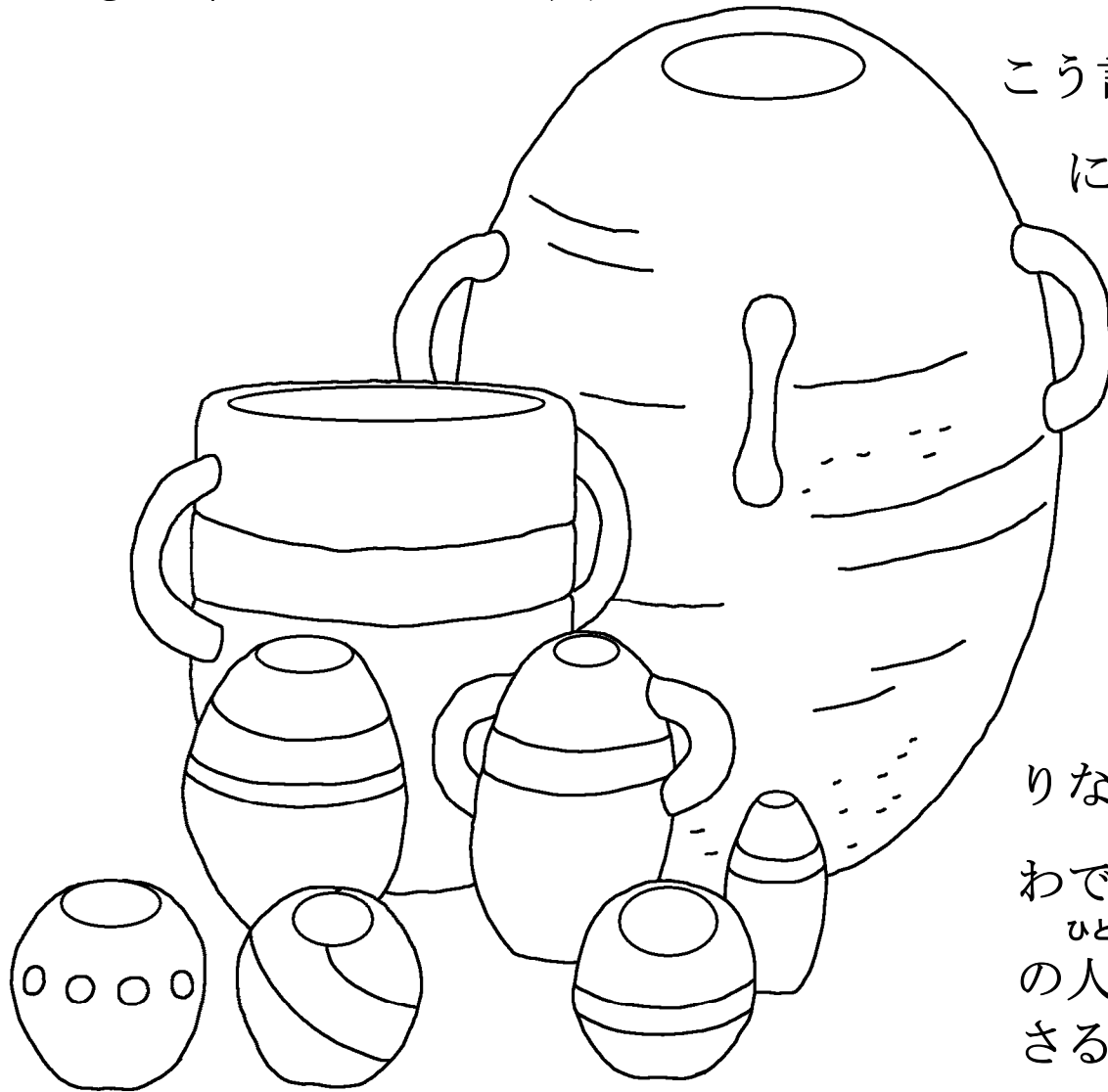
もり
森からあらわれました。そして、

あーっというまにんに、42人もの

こどもたちを、引きさい
てしまったのです。



ある日、エリシャは、1人の女の人に出会いました。かの女は、夫を亡くし、
しかもたくさんの返さなければならぬお金がありました。お金をかした人は、



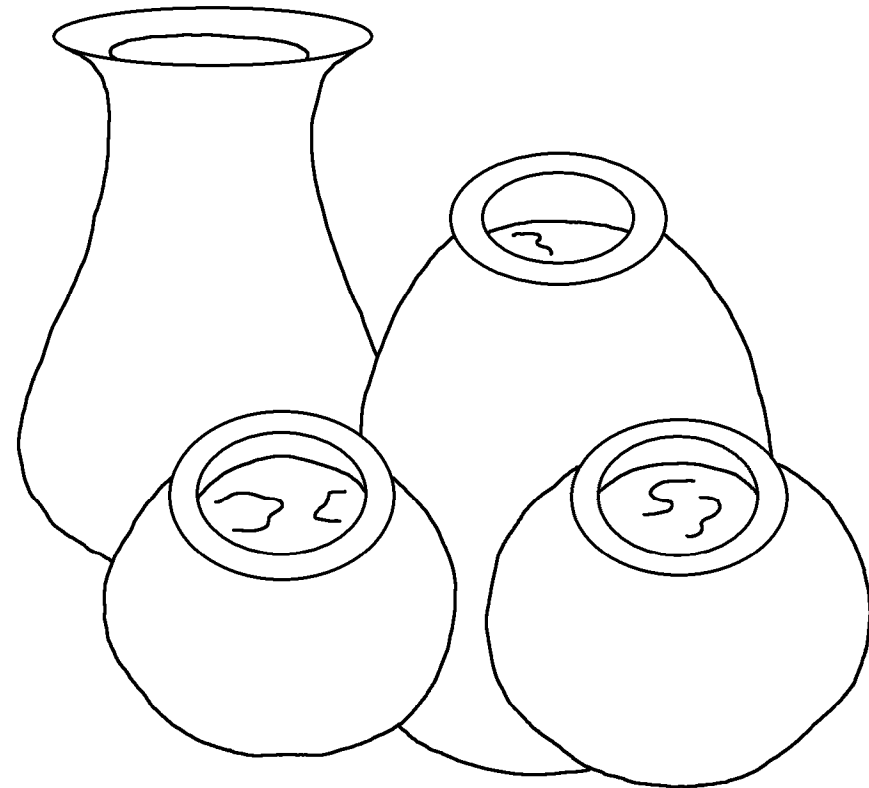
こう言いました。「お金のかわりに、あなたの2人の子どもたちを、どれいとしてつれて行こう。」そこで、エリシャは、困っている女の人にこう言いました。「さあ、近所きんじよの人のところへ行って、できるだけたくさんのうつわをかりなさい……。そう、空のうつわですよ。」神さまは、その女おんなの人にひとになにかすばらしいことをなさるようですね。



おんな
その女の人のうちには、たった1つの小さな
あぶら

油のつぼしかありませんでした。けれども、
ちい
なんとふしぎなことに、その小さなつぼから、
きんじょ うつわ
近所からかりてきたすべての器に、
あぶら
いっぱいのおをそそぐことができたのです。

じだい
もし、その時代におふろがあったら、
かみ あぶら
神さまは、おふろにもいっぱいのおを
くださったかな？ みなさん、
おも おんな ひと
どう思いますか。女の方は、
あぶら
その油を売って、
たす
こどもたちを助けることが
できたのですよ。



おんな ひと

おっと はなし

さて、もうひとりの女の^{おんな}人と、その夫^{おっと}のお話^{はなし}をし

ましょう。かれらは、自分^{じぶん}たちのうちに、エリシヤの

とくべつな^{つく}へやを、作^{つく}ったのです。それでエリシヤ

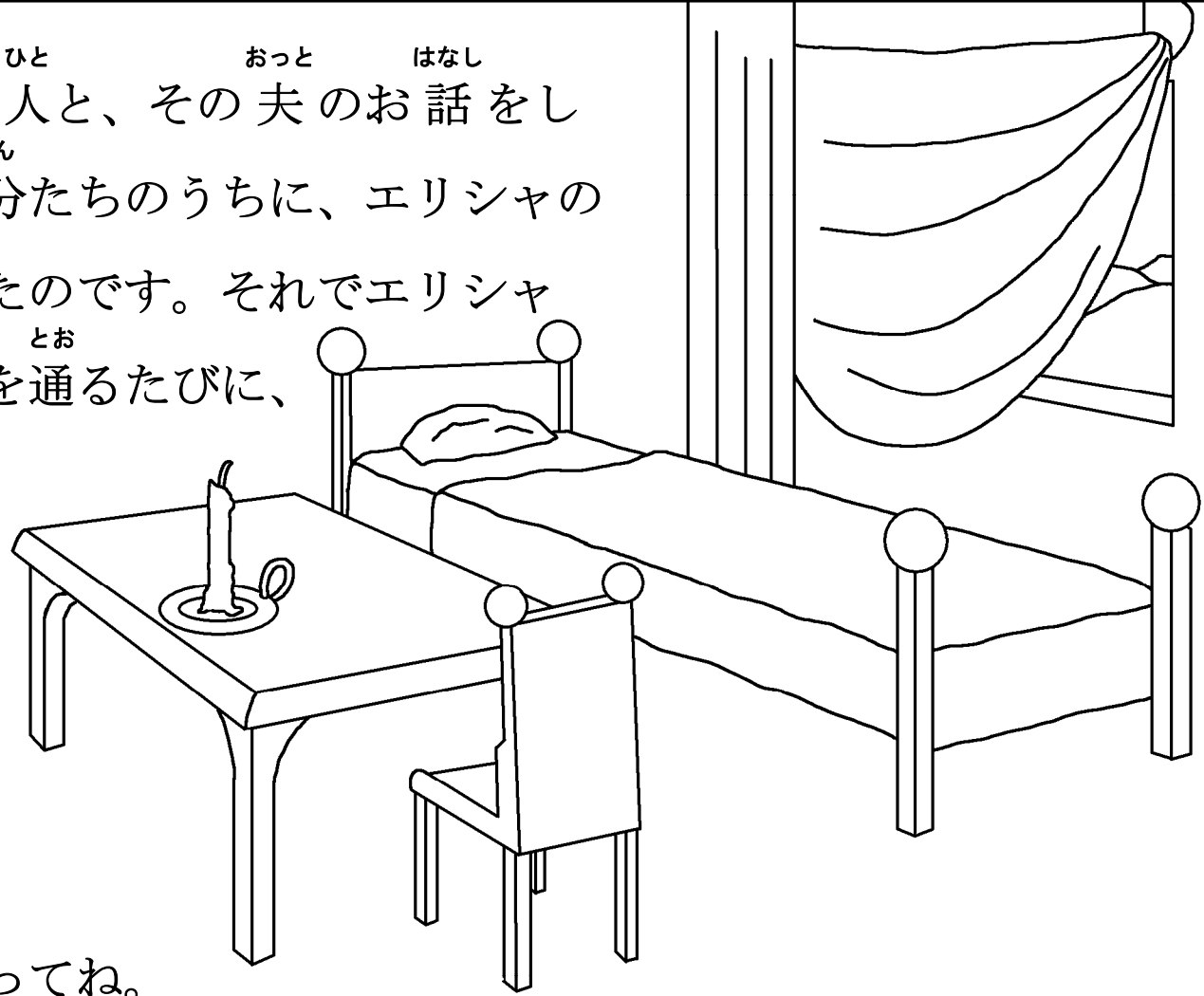
は、かれらのうち^{ちか}の近く^{とお}を通^{とお}るたびに、

いつでもそこ^とに泊^とま

ることができました。
そのへやには、ベッド、
テーブル、イスそして
ランプもありますよ。

なにもかも用意^{ようい}して
ありました。エリシヤが、

いつでも泊^とまれるようになってね。



「いったい、どうしたらこのしんせつな夫婦にお返しができるのだろう。
」エリシャは、こう思いました。あるときエリシャは、この夫婦にこども
がいないことが、わかりました。そこで、かれは、女の人に言いました。
「来年のいまごろ、あなたは、きっと赤ちゃんをだっこしているでしょう。」

女の方はびっくりしました。

とても信じられません。
でもね、それからちよ
うど1年、エリシャが
言ったことは、ほんとう
になりましたよ。

赤ちゃんがうまれたのです。



なんねん

こ はたけ

それから何年かたちました。おとうさんとその子が、畑にいるときです。

な

とつぜん、こどもが泣きだして「あたまが、ぼくのあたまが・・・。」

い はたけ ひと いそ おとこ こ かあ

と言うのです。畑の人たちは、急いでその男の子を、お母さんのところへ

い こ ひる かあ うえ

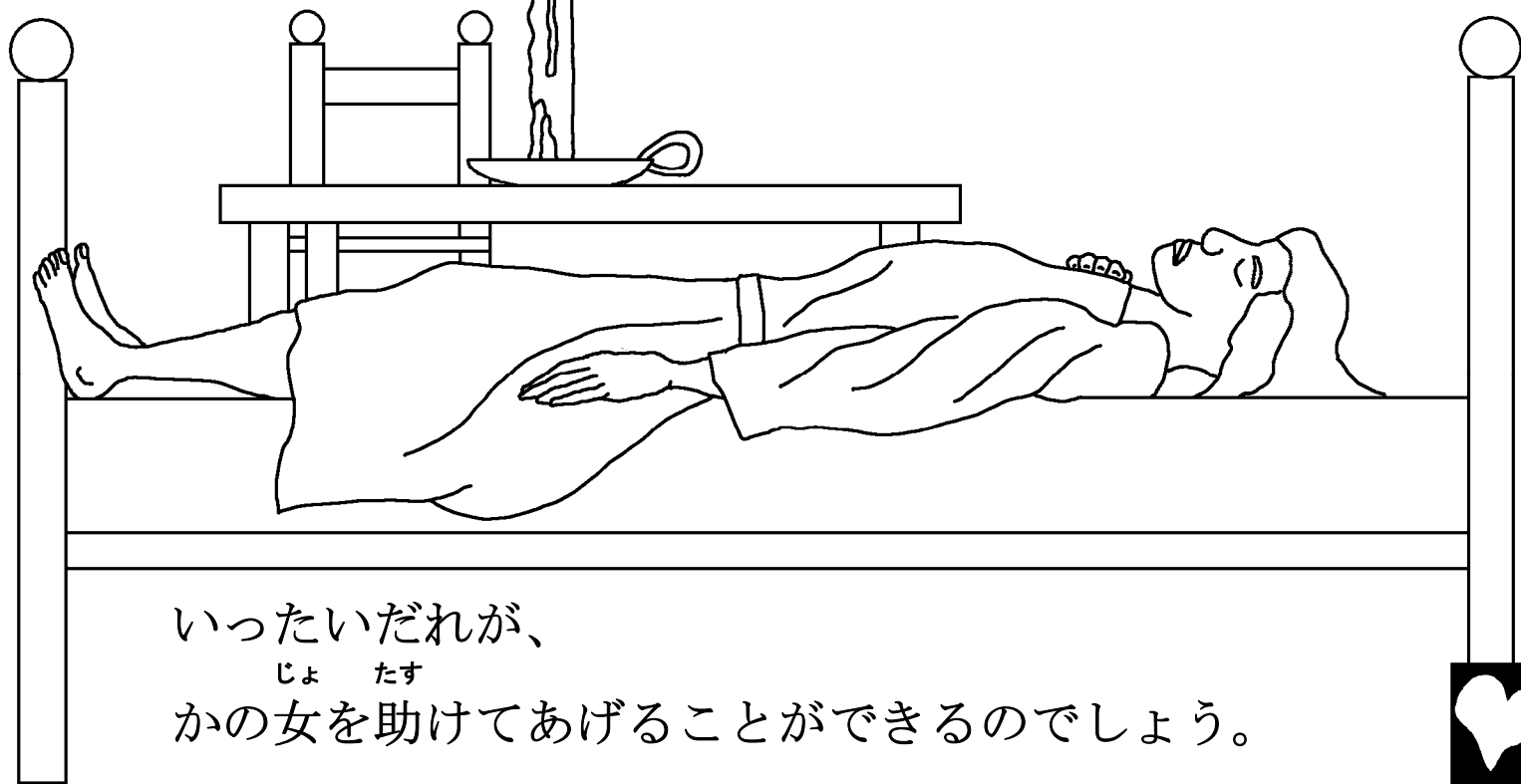
つれて行ったのですが・・・。子どもは、昼までお母さんのひざの上において、

し かあ こ

そのまま死んでしまったのです。お母さんは、その子をだいて、そっとエリシャ

かあ

のベッドにねかせてやりました。 かわいそうなお母さん・・・。



いっただれが、

じよ たす

かの女を助けてあげることができるのでしょうか。



こんなとき、あなた^いだったらエリシャに言いますか。そう、そうですね。

お母^{かあ}さんは、ろばにまたがり、もの^{じよ}すごい^きはやさで、エリシャをさがしに行き
ました。さあ、エリシャが、かの女^{かの}のうちまで来てくれましたよ。エリシャは、

ひとりで2かいへ、上^あがって、
主^{しゆ}に祈^{いの}りました。神^{かみ}さまは、

この祈^{いの}りを聞^きいてくださったのです。

そう、男^{おとこ}の子^こは、生^いき
返^{かえ}りましたよ。

エリシャは、
お母^{かあ}さん^よを呼^よん
で言^いいました。



「さあ、あなた^この子^こをだいてやりなさい。」かの女^{かの}は、
なんてうれしかったことでしょう！よかったですね。





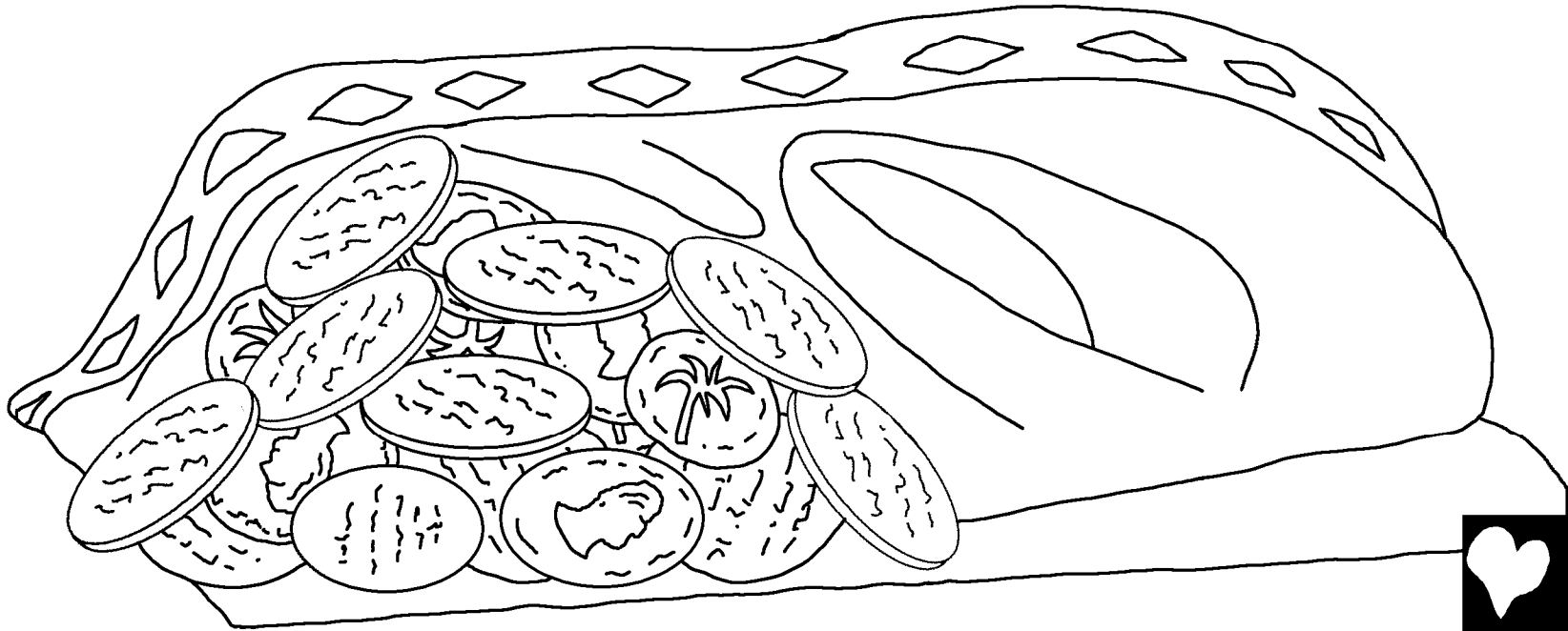
シリアというところのすぐ^{ちか}近くに、ナアマ
ン^{ぐん}という軍^{かん}たいのしき^す官が、住んでいま
した。かれは、とてもつよくて、ゆう^{ひと}かな
人^{びょう}でした。でも、かれは、らい^ひ病^{びょうき}という
ひどい皮^ひふの病^{びょうき}気にかかっていた。



ナアマンのおくさんは、イスラ
エルからつれて来られた小さな
どれいの少女を、召しつかいに
していました。あるとき、この
小さな少女が言いました。「も
し、ナアマンさまが、イスラエ
ルのよげん者のところに行けた
らなあ。かれは、きっとナアマ
ンさまのらい病を、なおしてく
ださるのに・・・。」



それを聞いたナアマン、すぐにそのよげん者に会いに出かけましたよ。かれは、
おくりものに、たくさんの金、銀そしてうつくしい服をもっていきました。





よげん者エリシヤの召しつかい
は、ナアマンにこのように言
いました。「さあ、ヨルダン川に
行って、7回からだを洗いなさい。
そうすれば、あなたの皮ふは、
きれいになるでしょう。」
ナアマンは、かんかんに怒りま
した。「そのぐらいのことな
ら、ヨルダン川じゃなくて、わ
たしの土地、シリアのきれいな
きよい川で、洗えるじゃない
か！」こう言って、怒りながら
自分の土地にもどって
いきました。





ところが、召しつかいは、「ナアマンさま、どうぞエリシャのことばにしたがってみてください。」と、なんどもなんどもすすめるのです。そこで、ナアマンは、もういちどヨルダン

川にまで行くことにしました。

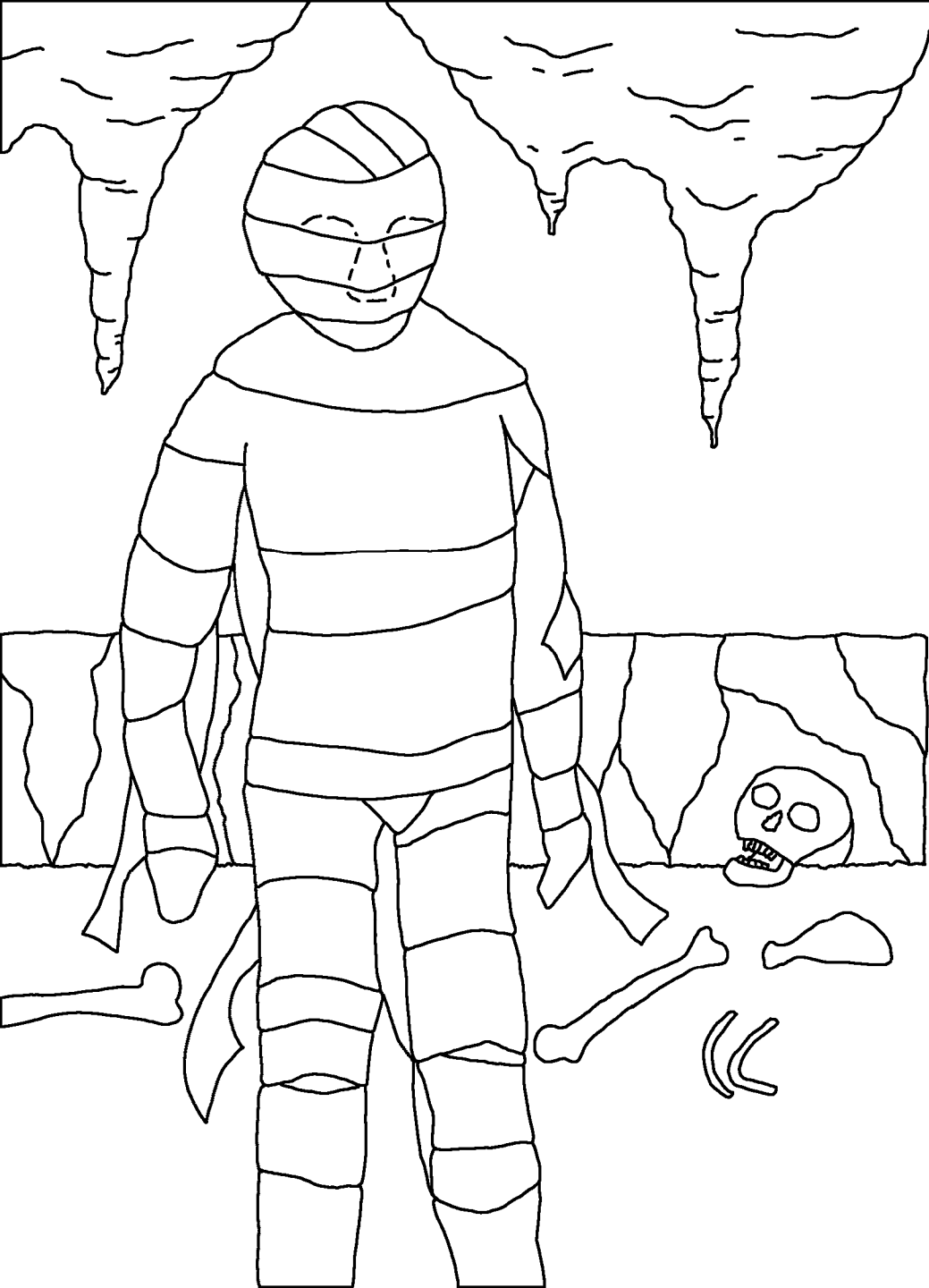
そして7回、川につかったのです。

さて、ナアマンの皮ふは？うわっ、ほんとうにすっかりきれいになってますよ。らいびょう

い病がなおったのです。そのとき、ナアマンは、はじめて神さまを知ったのです。

そして、ほんとうの神、エリシャの神さまを、礼拝するようになりましたよ。らいびょう病をなおしてくださった主をね。





かみ

神さまは、しもベエリシヤを、

かれが死んでしまったあとも、

用いられましたよ。ある日、

男の人が死んで、穴にうめられました。そこはね、エリシヤ

が、ずっとまえに、亡くなったあと、うめられているところで

した。その人のからだは、よげ

ん者エリシヤの骨にふれたとき

です。その人は、生きかえり立ちあがったのです。びっくりで

すね。それは、きっと神さまが

その力を、エリシヤをとおしてあらわされたのでしょう。



ひと
きせきの人 エリシヤ

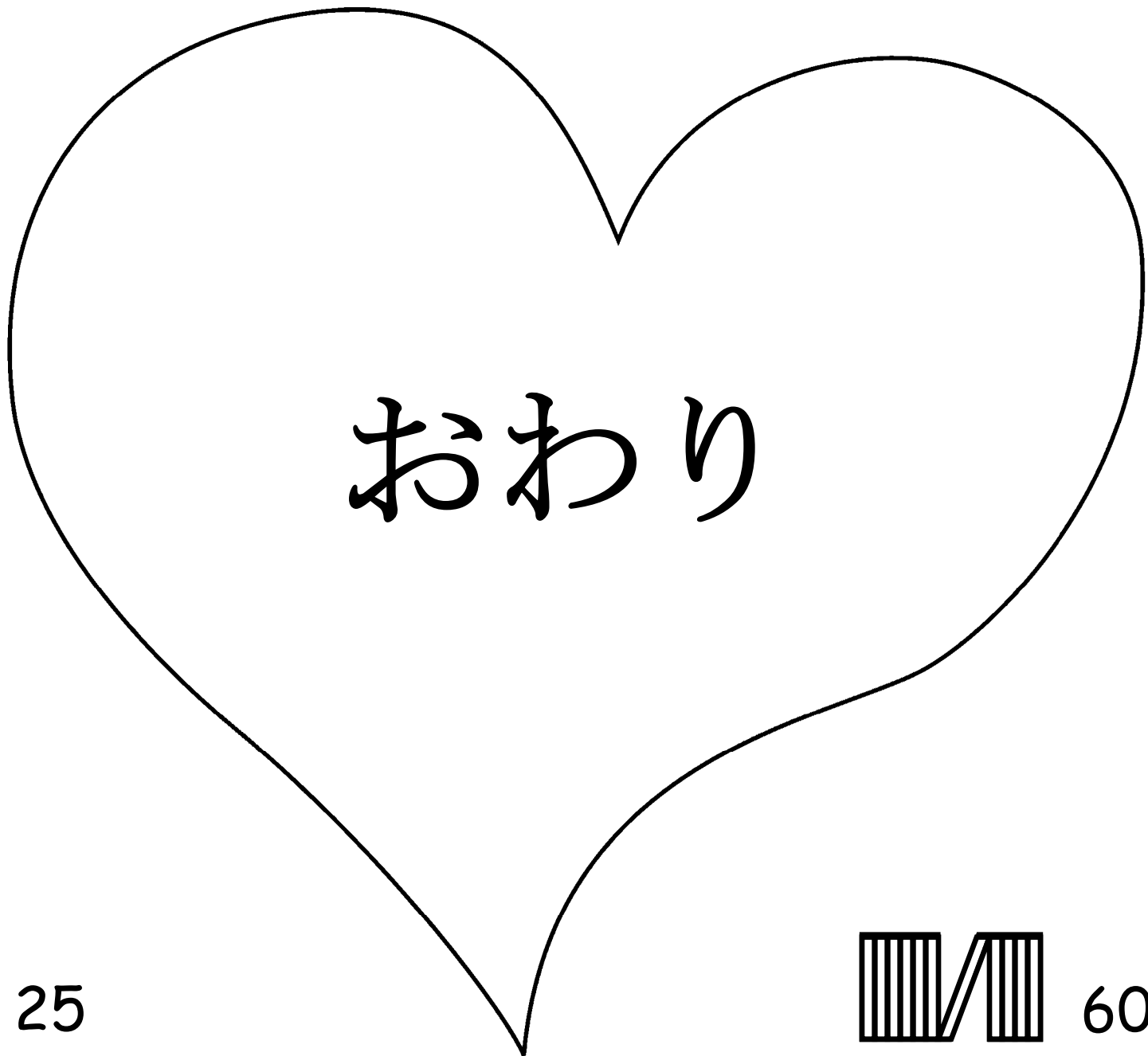
かみ み せいしょ する
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

れきだい し げ しょう しょう
歴代誌下 33 章 -36 章

み ひら ひかり あた
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん
詩篇 119:130

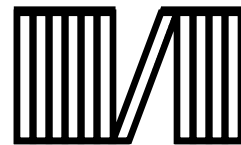




おわり



25



60



せいしょものがたり わたし かみ
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、
おも
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま
は、罪つみとよばれています。その罪つみのむくいは、死しです。

かみ あい ひとり こ
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ
よ おく つみ じゅうじかじょう な
の世よに送おくってくださいました。そしてあなたつみの罪つみのために、十字架じゅうじかじょう上なで亡なくなられたのです。けれども
それから、イエスさまはよみがえられ、天国てんごくのいえへ、もどられたのですね。もし、あなたがイエスさ
まを信しんじ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま
いま ところ き なか す
は、今いま、あなたところの所きへ来なて、あなたなかのころろの中すに住すんでくださいます。そして、いつまいでもイエスさ
まといっしょに生いきるこいとができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信しんじるなら、神かみさまにこう言いってください。

あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な
愛あいする神かみさま、私わたしは、あなたが神かみさまと信しんじます。あなたは人ひととなり、私わたしたちの罪つみのために亡なくなつて
くださいました。そして、よみがえいって、いま生いきて
わたし なか き つみ わたし いま
いらっしゃいます。どうか、私わたしのころろの中なに來きて、罪つみをゆるしてください。それで、私わたしは今いま、あたら
しい命いのちをいただげます。そして、いつか、あなたところの所いへ行いき、いつまこでもあなたといっしょにいるこい
とができるのです。あなたにこしたいがえますよう、あなたの子ことして生いきるこいとができますよう、たすけて
ください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ
まいにち、聖書せいしょをよみ、神かみさまとおはなししましましょう！ ヨハネによる福音書ふくいんしょ 3 : 16

